

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2022年5月18日

## 訪日外客数（2022年4月推計値）

～ 4月：139,500人、約2年ぶりに10万人を上回る ～

- 2020年1月下旬以降のCOVID-19（新型コロナウイルス感染症）の世界的な拡大により、日本を含め多くの国々で海外渡航制限の措置を基本としつつ、その感染状況の変化にあわせ、緩和・強化が繰り返されてきた。
- しかしながら、最近では、一部の国・地域を除き、世界的に出入国規制の緩和の傾向が強まっている。
- 日本においては、2022年3月から観光目的以外の新規入国が一定条件下で再開され、4月の訪日外客数は2020年3月以来2年1か月ぶりに10万人を上回ったが、観光目的の入国や1日当たり入国者総数に対する制限が継続しており、COVID-19の影響前の2019年同月比95.2%減の139,500人にとどまっている。
- 日本政府は水際対策を段階的に見直す方針を表明しており、今後は、各国の感染状況や出入国規制の変化、ウクライナ情勢等に十分注視していくことが必要である。

\*本資料では、過去の数値との比較に当たっては、COVID-19の影響を避けるため、2019年実績との比較を行っている。

\*月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客数の動向」参照のこと。

[https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor\\_trends/index.html](https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/index.html)

「月別推計値 (Excel)」、「国籍/月別 訪日外客数 (2003年～2022年) (PDF・Excel)」

\*最新の市場動向トピックスは下記リンク参照のこと。（※3・4月のトピックスは2022年5月末頃に掲載予定。）

[https://www.jnto.go.jp/jpn/inbound\\_market/report.html](https://www.jnto.go.jp/jpn/inbound_market/report.html)

\*訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

### 【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL : 03-5369-6020 E-MAIL : data@jnto.go.jp

# 2022年 訪日外客数・出国日本人数 (対2019年比)

## 2022 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers (Compared to 2019)

日本政府観光局(JNTO)  
Japan National Tourism Organization(JNTO)

2022年5月18日  
18/May/2022

(単位: 人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2019	2022	伸率 Change %	2019	2022	伸率 Change %
1 Jan.	2,689,339 (2,345,029)	17,766 (649)	-99.3 (-100.0)	1,452,157	74,982	-94.8
2 Feb.	2,604,322 (2,341,479)	16,719 (999)	-99.4 (-100.0)	1,534,792	46,932	-96.9
3 Mar.	2,760,136 (2,411,650)	*66,100	*-97.6	1,929,915	70,678	-96.3
4 Apr.	2,926,685 (2,640,569)	*139,500	*-95.2	1,666,546	*129,200	*-92.2
5 May	2,773,091 (2,455,865)			1,437,929		
6 Jun.	2,880,041 (2,614,533)			1,520,993		
7 Jul.	2,991,189 (2,713,329)			1,659,166		
8 Aug.	2,520,134 (2,206,746)			2,109,568		
9 Sep.	2,272,883 (1,913,105)			1,751,477		
10 Oct.	2,496,568 (2,177,382)			1,663,474		
11 Nov.	2,441,274 (2,145,425)			1,642,333		
12 Dec.	2,526,387 (2,292,029)			1,712,319		
1~4 Jan.-Apr.	10,980,482 (9,738,727)	*240,100	*-97.8	6,583,410	*321,800	*-95.1
1~12 Jan.-Dec.	31,882,049 (28,257,141)			20,080,669		

◆注1: 本資料では、過去の数値との比較に当たっては、COVID-19の影響を避けるため、2019年実績との比較を行っている。

◆注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注3: 訪日外客数のうち、2022年の\*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値、2019年の値は確定値である。

◆注4: 訪日外客数及び\*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注5: ( )内は、総数のうちの観光客数である。

◆注6: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. We compared visitor arrivals figures for 2022 to those for 2019 to get rid of the effect of COVID-19.

◆Note 2. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 3. The figures for Visitor Arrivals are definitive (2019) and provisional (2022), while \* stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 4. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 5. The figures in ( ) represent the number of tourists among the total.

# 【参考】2022年 訪日外客数・出国日本人数（対2021年比）

【reference】2022 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers (Compared to 2021)

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization (JNTO)

2022年5月18日

18/May/2022

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2021	2022	伸率 Change %	2021	2022	伸率 Change %
1 Jan.	46,522 (547)	17,766 (649)	-61.8 (18.6)	48,691	74,982	54.0
2 Feb.	7,355 (266)	16,719 (999)	127.3 (275.6)	24,807	46,932	89.2
3 Mar.	12,276 (374)	*66,100	*438.4	28,896	70,678	144.6
4 Apr.	10,853 (740)	*139,500	*1,185.4	35,905	*129,200	*259.8
5 May	10,035 (1,057)			30,121		
6 Jun.	9,251 (1,657)			30,666		
7 Jul.	51,055 (42,621)			43,184		
8 Aug.	25,916 (13,304)			66,051		
9 Sep.	17,720 (1,124)			52,366		
10 Oct.	22,113 (2,287)			50,841		
11 Nov.	20,682 (1,709)			51,774		
12 Dec.	12,084 (701)			48,942		
1~4 Jan.-Apr.	77,006 (1,927)	*240,100	*211.8	138,299	*321,800	*132.7
1~12 Jan.-Dec.	245,862 (66,387)			512,244		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、\*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値である。

◆注3: 訪日外客数及び\*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ( )内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while \* stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in ( ) represent the number of tourists among the total.

## 2022年4月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2019年比）

Visitor Arrivals for Apr. 2022 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2019)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 4月	2022年 4月	伸率(%)	2019年 1月～4月	2022年 1月～4月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,926,685	139,500	-95.2	10,980,482	240,100	-97.8
韓国	South Korea	566,624	7,700	-98.6	2,647,397	16,600	-99.4
中国	China	726,132	22,400	-96.9	2,895,449	36,000	-98.8
台湾	Taiwan	403,467	2,800	-99.3	1,593,227	6,400	-99.6
香港	Hong Kong	194,806	1,300	-99.3	699,852	1,900	-99.7
タイ	Thailand	164,817	3,200	-98.1	512,754	5,900	-98.8
シンガポール	Singapore	36,704	600	-98.4	129,169	1,100	-99.1
マレーシア	Malaysia	46,092	1,100	-97.6	164,766	2,000	-98.8
インドネシア	Indonesia	39,768	11,700	-70.6	136,476	18,200	-86.7
フィリピン	Philippines	69,266	8,500	-87.7	188,700	14,600	-92.3
ベトナム	Vietnam	55,295	29,800	-46.1	177,928	42,900	-75.9
インド	India	18,376	3,600	-80.4	57,667	9,600	-83.4
豪州	Australia	70,504	1,100	-98.4	243,400	2,100	-99.1
米国	U.S.A.	170,247	5,200	-96.9	542,671	10,800	-98.0
カナダ	Canada	38,897	700	-98.2	123,032	1,400	-98.9
メキシコ	Mexico	8,222	200	-97.6	20,466	500	-97.6
英国	United Kingdom	44,537	1,600	-96.4	128,255	3,000	-97.7
フランス	France	46,005	1,700	-96.3	108,130	3,300	-96.9
ドイツ	Germany	27,829	1,600	-94.3	81,230	2,700	-96.7
イタリア	Italy	24,062	800	-96.7	50,948	1,500	-97.1
スペイン	Spain	13,858	400	-97.1	31,689	1,100	-96.5
ロシア	Russia	13,787	800	-94.2	37,405	1,700	-95.5
中東地域	Middle East	13,352	400	-97.0	32,644	900	-97.2
その他	Others	134,038	32,300	-75.9	377,227	55,900	-85.2

◆注1：本資料では、過去の数値との比較に当たっては、COVID-19の影響を避けるため、2019年実績との比較を行っている。

◆注2：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注3：上記の2019年の数値は確定値、2022年の数値は推計値である。

◆注4：訪日外客とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。  
なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆注6：新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化により、上陸拒否対象国からは特段の事情がない限り入国できない（上陸拒否対象国：56の国、地域（4月28日現在））

◆Note 1. We compared visitor arrivals figures for 2022 to those for 2019 to get rid of the effect of COVID-19.

◆Note 2. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 3. Above figures for 2019 are definitive, while figures for 2022 are the preliminary ones estimated by JNTO.

◆Note 4. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

◆Note 6. Foreigners who have stayed in countries or regions subject to denial of landing are denied permission to enter Japan unless there are exceptional circumstances.

(56 countries or regions are subject to denial of landing as of April 28th).

## 【参考】2022年4月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2021年比）

【reference】 Visitor Arrivals for Apr. 2022 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2021)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2021年 4月	2022年 4月	伸率(%)	2021年 1月～4月	2022年 1月～4月	伸率(%)
総数	Grand Total	10,853	139,500	1185.4	77,006	240,100	211.8
韓国	South Korea	1,076	7,700	615.6	6,477	16,600	156.3
中国	China	3,271	22,400	584.8	19,194	36,000	87.6
台湾	Taiwan	405	2,800	591.4	1,972	6,400	224.5
香港	Hong Kong	59	1,300	2103.4	317	1,900	499.4
タイ	Thailand	154	3,200	1977.9	1,110	5,900	431.5
シンガポール	Singapore	40	600	1400.0	234	1,100	370.1
マレーシア	Malaysia	95	1,100	1057.9	508	2,000	293.7
インドネシア	Indonesia	198	11,700	5809.1	1,567	18,200	1061.5
フィリピン	Philippines	212	8,500	3909.4	1,664	14,600	777.4
ベトナム	Vietnam	332	29,800	8875.9	20,788	42,900	106.4
インド	India	555	3,600	548.6	2,844	9,600	237.6
豪州	Australia	95	1,100	1057.9	281	2,100	647.3
米国	U.S.A.	583	5,200	791.9	2,706	10,800	299.1
カナダ	Canada	105	700	566.7	300	1,400	366.7
メキシコ	Mexico	39	200	412.8	141	500	254.6
英国	United Kingdom	185	1,600	764.9	671	3,000	347.1
フランス	France	123	1,700	1282.1	843	3,300	291.5
ドイツ	Germany	139	1,600	1051.1	621	2,700	334.8
イタリア	Italy	91	800	779.1	328	1,500	357.3
スペイン	Spain	79	400	406.3	374	1,100	194.1
ロシア	Russia	132	800	506.1	518	1,700	228.2
中東地域	Middle East	83	400	381.9	310	900	190.3
その他	Others	2,802	32,300	1052.7	13,238	55,900	322.3

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2021年の数値は暫定値、2022年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことであり、駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。  
なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注4：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆注5：新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化により、上陸拒否対象国からは特段の事情がない限り入国できない(上陸拒否対象国:56の国、地域(4月28日現在))

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2021 are provisional, while figures for 2022 are the preliminary ones estimated by JNTO.

◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

◆Note 5. Foreigners who have stayed in countries or regions subject to denial of landing are denied permission to enter Japan unless there are exceptional circumstances.

(56 countries or regions are subject to denial of landing as of April 28th).

# 地域別訪日旅行市場の概況

参考：日本政府は、2022年3月1日以降、受入責任者の管理の下に所定の手続きを条件とした商用・就労目的の短期間滞在（3か月以下）及び長期間滞在者の新規入国を認めることとした。（入国者総数の上限は3月14日より1日当たり7,000人目途、4月10日より1日当たり1万人目途）また、自宅又は宿泊施設での待機、待機期間中の健康フォローアップ、公共交通機関不使用の期間につき、原則として7日間とした。なお、3日待機指定国・地域（\*）からの入国か否か、条件を満たした有効な新型コロナウイルス接種証明書を所持しているか否かで、入国後の待機期間（7日間、3日間又は待機なし）及び待機場所（検疫所が確保する宿泊施設又は自宅等）が変更される。

\* 「3日間待機指定国・地域」とは、「水際対策上特に対応すべき変異株等に対する指定国・地域」のうち3日間待機の国・地域及び「水際対策上特に対応すべき変異株以外の新型コロナウイルスに対する指定国・地域」を指す。

注）当該「地域別訪日旅行市場の概況」においては、過去の数値との比較に当たっては、COVID-19の影響を避けるため、2019年実績との比較を行っている。訪日外客数は2022年4月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報（2022年5月11日時点）としている。また、各国の規制については、原則としてワクチン接種完了者が出国・帰国する際に適用される規制のみ記載している。

## 1. アジア

### ① 東アジア

#### ● 韓国は、7,700人（対2019年同月比98.6%減）であった。

- ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査・待機等）、査証の効力停止等の対象となっている。
- ・ 韓国政府による日本への海外旅行の中止、延期を国民に要請する特別旅行注意報が引き続き発令されている。自国民の日本からの入国については、陰性確認書の提示、入国後1日以内のPCR検査、6～7日目に迅速抗原検査等が義務づけられている。
- ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。

#### ● 中国は、22,400人（対2019年同月比96.9%減）であった。

- ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。
- ・ 中国政府外交部より海外旅行自粛の指示が出されていることから、観光客の日本への渡航は実質的に不可能な状況が続いている。自国民の日本からの入国については、陰性証明書の取得及び原則として14日間の施設での隔離、複数回のPCR検査等が求められている。

・日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。

● 台湾は、2,800人（対2019年同月比99.3%減）であった。

・COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。

・台湾における日本への渡航警戒レベルは不要不急の渡航自粛等が続いている。台湾人の日本からの入境については、陰性証明書の提示が必要であり、また、入境後の7日間の隔離及び7日間の自主健康管理、入境時及び入境から7日目のPCR検査等が必要となっている。

・日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。

● 香港は、1,300人（対2019年同月比99.3%減）であった。

・COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。

・香港政府による日本への渡航の自粛が要請されている。香港市民の日本からの入境については、ワクチン接種を条件に飛行機への搭乗が認められ、陰性証明書の提出、入境時のPCR検査等、7日間の指定検疫ホテルでの隔離及び強制隔離期間中の複数回のPCR検査等、強制隔離終了後7日間の自己観察及び入境後12日目のPCR検査等が求められている。

・日本への直行便は 2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。

## ② 東南アジア

● タイは、3,200人（対2019年同月比98.1%減）であった。

・COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。

・自国民の日本からの入国について、ワクチン接種証明書等の提示が必要となる。

・日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。

● シンガポールは、600人（対2019年同月比98.4%減）であった。

・COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。

・自国民の日本からの入国については、ワクチン接種証明書の提示等が義務付けられている。

・日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。

- マレーシアは、1,100人（対2019年同月比97.6%減）であった。
  - ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。
  - ・ 自国民の日本からの入国については、ワクチン接種証明の提出が義務付けられている。
  - ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。
- インドネシアは、11,700人（対2019年同月比70.6%減）であった。
  - ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。
  - ・ 自国民の日本からの入国については、ワクチン接種証明書、陰性証明書等の提示、入国後14日目までの自主的な健康観察が推奨されている。
  - ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。
- フィリピンは、8,500人（対2019年同月比87.7%減）であった。
  - ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。
  - ・ 自国民の日本からの入国については、陰性証明書の提示、到着日を初日として7日目までセルフモニタリングの実施が必要となる。
  - ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。
- ベトナムは、29,800人（対2019年同月比46.1%減）であった。
  - ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。
  - ・ 自国民の日本からの入国については、陰性証明書の提出、入国から10日目までの自主的な健康観察等が求められる。
  - ・ 日本への直行便は 2022年5月も引き続き運休・減便となっている。
- インドは、3,600人（対2019年同月比80.4%減）であった。
  - ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。



- ・ インド政府から、日本への渡航自粛が強く要請されている。自国民の日本からの入国については、陰性証明書の提出、14日間のセルフモニタリングの実施等が必要となる。

- ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き運休・減便となっている。

## 2. 豪州、北米

### ● 豪州は、1,100人（対2019年同月比98.4%減）であった。

- ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。

- ・ 豪州政府により日本への渡航は十分注意とされている。自国民の日本からの入国については、ワクチン接種完了証明書の提示等が義務付けられている。また、殆どの州や地域において、入国時にPCR検査等が必要となる。

- ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。

### ● 米国は、5,200人（対2019年同月比96.9%減）であった。

- ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。

- ・ 米国政府により、日本への渡航は渡航の自粛勧告とされている。自国民の日本からの入国については、陰性証明書の提示が義務付けられているほか、入国後、3～5日以内の検査が推奨されている。

- ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。

### ● カナダは、700人（対2019年同月比98.2%減）であった。

- ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。

- ・ 自国民の日本からの入国については、入国時のランダムなPCR検査等が必要となる。

- ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。

### ● メキシコは、200人（対2019年同月比97.6%減）であった。

- ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。

- ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。

### 3. 欧州

- 英国は、1,600人（対2019年同月比96.4%減）であった。
  - ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。
  - ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。
- フランスは、1,700人（対2019年同月比96.3%減）であった。
  - ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。
  - ・ 自国民の日本からの入国については、ワクチン接種証明書等の提出が求められている。
  - ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。
- ドイツは、1,600人（対2019年同月比94.3%減）であった。
  - ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。
  - ・ 自国民の日本からの入国については、ワクチン接種証明書等の提出が義務付けられている。
  - ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。
- イタリアは、800人（対2019年同月比96.7%減）であった。
  - ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。
  - ・ 自国民の日本からの入国については、ワクチン接種証明書等の提示が義務付けられている。
  - ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き運休となっている。
- スペインは、400人（対2019年同月比97.1%減）であった。
  - ・ COVID-19の拡大により、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。
  - ・ 自国民の日本からの入国については、ワクチン接種証明書等の提示等が必要となる。
  - ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き運休となっている。

● ロシアは、800人（対2019年同月比94.2%減）であった。

- ・ COVID-19の拡大により、日本政府による上陸拒否、検疫強化（検査・待機等）、査証の効力停止等の対象となっている。
- ・ 自国民の日本からの入国については、ワクチンを接種済であることを証明する書類等を政府ポータルサイトに登録する必要がある。
- ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き運休となっている。

4. 中東地域

● 中東地域は、400人（対2019年同月比97.0%減）であった。

- ・ COVID-19の拡大により、中東地域各国も、日本政府による検疫強化（検査等）、査証の効力停止等の対象となっている。
- ・ 自国民の日本からの入国については、中東地域各国で、一定期間の隔離、PCR検査受検、ワクチン接種証明書の提出、陰性証明書の提出、指定アプリのダウンロード等、入国制限や入国後の行動制限が設けられている。
- ・ 日本への直行便は、2022年5月も引き続き大幅な運休・減便となっている。